

宮下地区 地域づくりニュース

Vol. 2

平成22年1月12日（火）町民センターにおいて、第3回宮下・荒屋敷地区 地域懇談会が開催されました。これまでの経過の報告と今後の取組みについて活発な意見が交わされました。



【経過報告と今後の取組み】（会長報告）

- ・一斉清掃と花いっぱい運動を実施した。秋のかぐや姫作戦は住民だけでなく事業所からも積極的な参加があり、今後の地域づくの力になる。
- ・美化活動で長坂に芝桜を植えた。来年度以降も継続し、長期的に取り組みたい。
- ・町、県、部落の三者で長坂から中学校の間において「美しい道作りサポート制度」を実施した。今後も具体的な計画の下に効果的に進めたい。
- ・周遊のための仕組みづくりの一つとして、現在マップを作成中である。



宮下地区の街並み

- ・周遊のおもてなしで「そば組」を立ち上げ、10月17・18日の工芸展の際は180人の来客数となった。今後もいろいろなノウハウを学び、工夫をしていきたい。そばとともに提供した「二代目万五郎豆腐が大好評で地域食材としての可能性を感じた。
- ・遊休農地を利用してそばの栽培を行った。花が咲いた時は景観も良かったので、次年度は栽培面積を増やし景観作りに貢献したい。場所を定着させ宣伝を行えば誘客も図れると思う。
- ・景観部会で計画している講演会や、サイクリングロードの花植えなどについても具体的な計画を立て実現に向けていきたい。

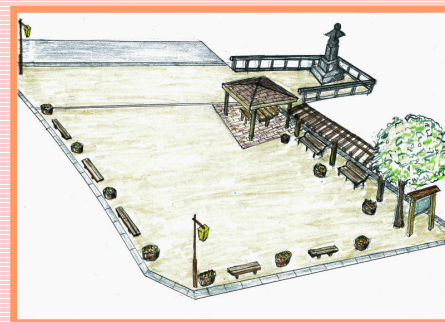


懇談会の様子



【ポケットパーク整備について】(会津若松建設事務所から)

- ・地域の皆様の意見をもとに「地域の人達がふれあえる」「他から来た人と交流できる」「イベント会場に使える」の3点に絞り、設計を進めています。
- ・墓地の地権者の皆様に配慮した形で設計を進め、管理しやすい施設ということを考慮しています。
- ・地域で行われている「花いっぱい運動」「かぐや姫作戦」と一体化する意味で、キーワードを『花』としました。移動可能なプランターを設置し、花いっぱい運動に活用できるようにします。
- ・「てわっさの里まつり」や「豊年踊り」に対応できるスペースを確保しています。(縦横約17m)



整備イメージ図



プランター(イメージ)

- ・基盤は除雪機械の重量に耐えられる構造とし、透水性のカラー舗装を考えています。
- ・東屋とベンチを公園周辺に配置して休憩スペースとし、東屋とパーゴラで日よけ効果をはかります。
- ・給水施設と情報発信用の案内看板を設置する計画になっています。



「山三」は宮下大火の数年後にできた建物で宮下型住宅の良さを残し、貴重である。角地に立地しており、景観を形成する上でも重要なポイントとなる。

【旧観光案内所「山三」の改修について】

(設計担当者から説明)

- ・形をあまり変えないで傷んだ部分を修正する。
 - ・内部はそばの店舗、物販の店舗、観光案内所の3つの機能を持たせ、壁面を利用し、ギャラリーの要素も加えたい。
 - ・宮下の大きな特徴である、てわっさの方々の作品を展示し常時見れるようにしたい。
 - ・角部は柱だけを残し斜めに切り通行をスムーズにし、ガラス張りにし、外から作品や店内が見えるようにしたい。
- ・店内のテーブル、椅子等は地元の桐や杉の加工技術があるので、できるだけ多くそれを使い、町の力をアピールする場になんたらいいという思いがある。
 - ・二階は展示スペース、企画物、例えばそば口上を披露した上でそば会をやったり、語り部の会を開催するスペースになると考えている。



※これからも地域の皆様とともに「地域づくり」に取り組んでまいります。

ご意見・お問い合わせは



福島県 会津若松建設事務所

TEL: 0242-29-5455

企画調査課(担当: 瀧本)

FAX: 0242-29-5459